

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三―五
TEL 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435
http://www.neues-asahi.jp

書家・岡部蒼風「書論ノート」を久しぶりに開いて読みました。

本文の誤字には、本人の文字で丁寧に手書き訂正が入り、その文字に懐かしさを覚えました。身近に先生の存在を感じました。

蒼風先生と数人で旅をしたこともあり、そんな宴席では若かりし時、上野松坂屋での揮毫方の職についた頃のことや書について話をされ、書壇の重鎮の名が並ぶのに驚き、眼を丸くして真剣に聞いたものです。また昔々の恋物語などでは、本人は涙が出るほどだったと推察しますが、私達はお腹が痛くなるほど笑い転げていました。そろそろ・・・という時間には何故か「人を恋うる歌」を皆で歌うのが常でした。

妻をめとらば才たけて

みめ美しく情ある

友をえらばば書をよみて

六分の快気四分の熱



「回」

「書論ノート」には、書論だけにとどまらない表現者としての精神性が根底にあり、それは表現者が必ず突き当たる大きな問題を明確にしています。「なぜ自分は表現せずにはいられないのか?」「なぜ自分に表現行為があるのか?」「わたしの場合について・・・」として蒼風先生は、一口に「そうせずにはいられないから」「そうしているときが一番自分が自分であるような充実した自分として生きているような気がするから」と書いています。また、さらに掘下げて――まず、わたしは今ここにどのように生きている。それがどのような生き方にして、またどのような生き方であるにして、いのちあるものとして生きている事実は疑うべくもない。生きている限り、わたしには自分の生命を維持し、発展し継承したい本能的欲求があるのは、かの説によるまでもなく当然である。それは別なことばでいえば、無制限に自己を開放したい自由への欲求であるともいえる。だが、もちろんわたしのその欲求の前には、わたしの生理的・心理的・そして社会的な制約が壁のごとく立ちふさがり。特に現代社会のしくみ―メカニズムは、わたしを一箇の歯車(部品)として、わたしの意志の如何にかかわらず、その非常なカラクリの中に巻き込み動かしていく。わたしが如何に抵抗し、また超脱しようとしても、現代社会に生きているかぎりこれはどうにもならない。しかも一方、生けとし生けるもののいのちを刻々と無限の暗闇に引込んでやまない無情な「死」が、わたしの生の中に入りこんでいる。日々を生きているということが、日々を

死んでいくということ、この避けることも抗することもできない事実(運命)の前に、わたしはリツ然とし、また暗然たらざるをえない。(略)わたしが「死を生きていく」―「生を死んでいく」このいのちの流行は、まさにそのようなものの流行であり、わたしがいまここに生きている事実は、いわゆる「永遠のいま」を生きているということにもなる。そのいまのいのちをおしむおもいは、それを生生としたかたちに刻みつけた。やむにやまれぬねがい―表現へとうごく。「一期一会」(いちごいちえ)―表現。このつながりの中に、わたしの表現活動のひみつがある。――と書いています。「書論ノート」は、手に入らないので長く引用をしましたが、作家のアトリエに残された作品と向き合った時、蒼風先生の文章を読んでいる時と同じように姿は見えずとも身近に生前の表情、言葉、息遣いを感じられます。アトリエや書齋という場所は本当に真剣勝負で「生」と「死」と向き合っている場なのだつくづく感じました。

少し重い文章になりましたが、表現者の姿勢には、それぞれの厳しさがあるものだと感じ、作家と向き合うという機会を大切にしていきたいと思うこの頃です。(武藤)

ノイエス朝日(展覧会・特別企画上演)のご案内

掛川孝夫展 3.11 悼む 顔 永えに

会期 七月二十日(土)～二十八日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

3.11の東日本大震災は、死者・行方不明者一八五五四人(二〇一三年六月十日時点)。

多くの人々は、この時を境に人の生と死を自分の事のように考えずにはいられなくなりました。

掛川孝夫氏の作品には、表現者として描かずにはいられない鎮魂と祈りがこもっています。

昔から掛川氏と交流があり東日本大震災を大きな問題として作品にしている岡田芳保氏に詩を寄せていただきました。



創作影絵人形芝居「極楽金魚」

作・演出 遠藤啄郎

人形美術 竹内英梨奈

音楽 松本利洋

人形操作・語り 吉岡紗矢

七月六日(土) 開演 午後三時

七月七日(日) 開演 午後三時

*上演時間 約一時間三十分

会場 ノイエス朝日 スペース1

チケット 前売 二五〇〇円(当日二八〇〇円)

*チケットは六日、七日の指定日チケットとなりましてのでご購入時にご指定下さい。

*座席が限られています。定員になり次第締め切りますので、お申込みはお早めをお願いいたします。

この作品は、四国高松で今も売られている可憐な郷土人形「奉公さん」の由来話をもとに、今から50年ほど前、ラジオドラマとして書かれ放送されました。その後、演劇、人形劇、日舞、説教節にもなり、また児童文学としても出版されました。演劇作品は日本各地だけでなく、フランス、スイス、イタリー各地で上演、パリでは一ヶ月間の公演が行われました。ギターの生演奏にのって力強く語られ、90センチ×130センチのスクリーン上で繊細に操作される素朴な皮製の人形、その光と影が成す、私達日本人の深層世界。その悲しくも美しい死と再生の物語です。

創作影絵人形芝居「極楽金魚」の前に語り「軒もる月」(原作・樋口一葉)があり、「極楽金魚」上演後には、遠藤啄郎氏による「仮面」についてのレクチャーがあり、同時に仮面約三十点の展示もあります。

主催 ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

共催 横浜ポートシアター

協力 ぐんま朗読塾(前橋・桐生・伊勢崎・太田・安中) 遠藤敦司



DiPS.A news

Vol.1



TOPICS リニューアル1周年記念セール開催!

昨年8月に文房具と紙製品の店頭販売を始めてから1年が経ちます。
1周年を記念し、お客様への日頃の感謝の気持ちを込めて、文房具商品20%~最大50%引きのサマーセールを開催することになりました! 気になってたあの万年筆、使ってみたかったあのノートなど、ご購入のビッグチャンスです。
在庫の少ない商品もございますので、お早目のご来店をお待ちしております!



万年筆/ボールペン
ファーカステル・ラミー・ブラティグナム...全品20% OFF
例5,000円→4,000円です!!



プレゼントセット全品20% OFF
(セット以外のプレゼントラッピングも無料で承ります!)



ノート/紙製品など
つばめ謹製・LIFE・古川紙工...
全品20% OFF!



マスキングテープ/クラフト用品
/シール...全品20% OFF



50% OFF コーナーには話題の面白文具や便利グッズがたくさん!

オンラインショップでも同時期にサマーセールを開催します! なかなか店頭まで足を運べないという方は是非チェック☞ <http://dips-a.shop-pro.jp/>

自分だけのオリジナル紙製品を作ろう!

ワークショップ in DiPS.A

夏休み企画

お子様と一緒に参加して得しちゃおう

みんなで“ワイワイ”キャンペーン



キャンペーン対象
ワークショップ開催日
7月13日・27日
8月10日・24日



●リング製本コース

11:00 ~ 12:00 / 参加費 2,000円

●活版印刷コース

14:00 ~ 15:00 / 参加費 2,000円

大変ご好評をいただいております2つのワークショップの夏休み特別キャンペーンを実施します。仕上がった作品は世界に一つのオリジナル! どちらのコースでも皆さん「宝物ができた!」と喜んでお帰りになっています。お子様と一緒にではなくてもお得な内容になっていますので、是非この機会にお試しください!



仕上がり例

お得な ご一緒に参加されるお子様の参加費無料!

ワケ① お1人分の参加料でお連れのお子様2人分までの参加費が無料になり、人数分の材料を差し上げます。(小さなお子様もOK)

お得な 次回ワークショップ参加費500円引き!

ワケ② 1回目でワークショップの流れがつかめたら、紙やレイアウトをいろいろ考えて2回目以降で実践するのがおすすめです!



お得な 夏のオリジナル活版カードプレゼント!

ワケ③ 夏らしいヨットのイラストの活版グリーティングカード(オリジナルブランド「トコトワ」新商品)を参加者全員にプレゼントします。

- ※ 要予約イベントです。お申し込みはお電話かウェブサイトです。
- ※ 開催日以外のご希望がありましたらお問い合わせください。
- ※ 開催内容の詳細はホームページからワークショップのご案内をご覧ください。

オンデマンド印刷情報

ZINE (ジン) コーナー設置しました!

「ZINE」(ジン)は、もともとはSFファンが使っていた「ファンジン」の略称として生まれたといわれます。ファッションや音楽のファンが発行する小部数の同人誌のことをZINEと呼ぶようになり、今では様々な分野のものが個人やグループで発行されています。ZINEは誰もが好き勝手に始められる、自由な表現物です。自分の作品や思いを手にとれるものでまとめた、他の人にも知ってもらいたい、と思いついたら、臆せず楽しんで作ってみてください。写真・詩・小説・イラスト・旅行記...など、取り上げるものも作り方もあなた次第です。ZINEコーナーでは県内外の作者による様々なZINEを手にとって見ていただくことができます。



DiPS.Aのオンデマンド印刷なら、自宅で作るよりもちょっとこだわった紙と印刷や製本で、オリジナルの小冊子を少数数作ることができます。この夏の思い出にZINEを作ってみてはいかがでしょうか?

●24頁1色50部A5縦中綴じ印刷・製本代例 12,500円(1冊250円)

●24頁4色10部A5横中綴じ印刷・製本代例 8,500円(1冊850円)

※料金例は写真と同じ形状(紙、綴じ)で、完全データ入稿の場合です。

掲載内容についてのお問い合わせ
お申し込みはこちらまで...

DiPS.A ディップス朝日

月曜~土曜 午前9時~午後7時(日曜・祝日休業)
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町70-1
TEL.027-254-1212 FAX.027-254-1227

<http://www.dips-a.jp>

